おかげさまで5周年

'02 第5回LREX展

Digest

'02 第5回LREX展

2002.11.30sat～12.8sun

NEXT21 アトリウム Open11:00～20:00
【同時開催】anothre ticket 11.30～12.5

［趣旨・目的］

地方で創作活動をしている無名なアーティストにとって作品を発表する場、１２０％表現できる場は限られています。また、あったとしても、誰がどのような創作活動をしているか容易に見えてきていません。

そんな中でも常に前向きな創作活動を持続すべく決して既成の概念にこだわらない、新しい先進性に富んだ表現の場を創ることを自ら企画・活動しています。

LREX展とは、商品販売等を目的とする展示会とは異なり、純粋な意味での芸術作品を発表する「アートエキシビジョン」で、多様なスタイルのアーティストが関わりながら年1回の創作発表をする場です。

ジャンルを超えた参加アーティストや来場者とのコラボレーションにより創りあげられた場には、一人では成し得なかった、単一ジャンルでは成り得なかった新しい表現が生まれてきています。

この企画が契機になり、地域土壌が活性化・多様化され、又コラボレーション等、異ジャンルアーティスト交流の場のヒントとなるよう継続活動をしています。

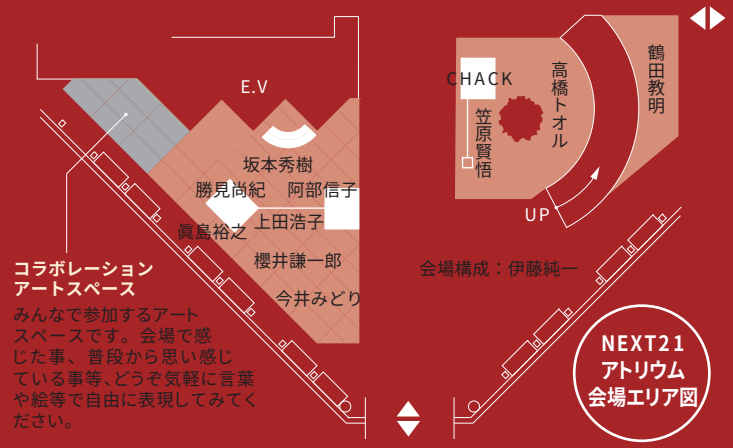
そして、広く新潟の芸術文化の発展に繋がるものと期待しております。

［概　念］

コラボレートする（Link＝つながる）ことで新しい表現が生まれ（Rondo＝踊る）、そこから新しい表現が生まれ、広がりを持つ（Expand=展開）。

[第5回展]

第5回目となる今回は、ズバリ「GO（ご）」をテーマに幅広いアート作品を発信。
オブジェや写真・映像・ジュエリーアートといった作品の他、高さのある作品・床に表現された作品など空間を最大限活かした、ここでしかできないインスタレーションを試る。
もちろんLREX恒例の来場者とアーティストで作りあげるアートスペースも設置し、ますます多彩にパワーアップしたLREXをみなさんに。



[企画イベント「LREX style」]

★オープニングイベント【LREX GO】

日　時/11月30日（土）14:00〜
会　場/NEXT21 アトリウム
アーティストトーク、アートパフォーマンス等
MC：新潟お笑い集団「NAMARA」
入場料：無料

開幕宣言をスタートに、MC「NAMARA」とアーティストによるトークバトルから始まり、チャック作品「現場アートパフォーマンス」のスタート、来場者参加型アートスペースでの「コラボレーション・アート」などを行う。今年も内容盛り沢山にLREX展のオープニングを飾る！！

★今年もParty【comfortable art cafe】

日　時/11月30日（土）19:00〜24:00
会　場/another ticket 2F
Ganre：Lounge Sounds (JAZZ, Ambient, Abstract)
DJ：SUN　Visual Art：LREX　LIVE：真季
入場料：無料

LREXと切っても切り離せない要素である「アート・音楽・お酒」。もちろん今年もパーティ開催。
5回目を迎えた今回は、過去の作品の数々もanother ticketでも展示。DJ SUNの紡ぎ出すクールでアンビエントな音とLREXのアートが融合して、心地良い空間を創りあげる。なお、展示作品はパーティ終了後も12月5日まで店内にて展示。

Artist 阿部 信子

金属を加工する仕事をしている私にとって
ジュエリーはひとつの表現手段だと思っています。
ジュエリーは常に人とともに有り、そして常に価値が付随します。
しかしそれは実に曖昧で、ダイヤモンドだって
科学的に見ればただの炭素にすぎません。
私達は本当は何が大切なのか気が付きはじめるでしょう。

Nobuko

金属工芸家

1966年新潟市生まれ 「アトリエNOVIジュエリー教室」主宰
ジュエリーをメインに金属を使った作品を制作
1997年より日本クラフト展やジュエリーアート展に出品
2001年英国巡回展参加

Artist 伊藤 純一

今回の会場構成どうしよう。天井が高いな〜。
そうだタワーを建てよう。
にょきにょきと建ったタワーに作品が寄生する。
横に動く動線と縦に動く視線が交錯する空間がいい。

最初に閃いたイメージはこんなだった。そしてその次に思ったことは…。

Junichi ITO

建築家・しょっぺ店愛好家

1963年生まれ　1998年より伊藤純一アトリエ主宰
新潟に限らず東京、埼玉など各地の店舗設計や各地の住宅設計を手がける。第一回リレーアート展合同展の会場構成からLREXに参加。しょっぺ処をこよなく求めるしょっぺ店好き。

こんにちは今井みどりです。ボクは座りものがスキです。藁がスキです。でも今回は使いません。新潟がスキです。日本がスキです。ボクにとって「GO」いう矢印が向かうものが屋根でした。座っていろんな作戦を練るのもよし、敵を見張るもよし仲間を待つもよし。多分座りにくいと思うんだけどそれを飛び超えて座りたくなるものだと思いつくっちゃいました。おめでとう。ありがとう。
つづく。

M idori IMAI

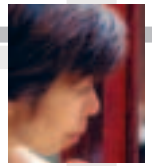
座る☆ものづくり

1976年新潟市下山生まれ　1996年恩師・関さんからの「やりたいと思ったことは才能がある」この言葉に衝撃を受ける。1999年座りものの世界を見つける　2000年風間イス店にて修行中。2001年頭脳よりも感情の方が鋭いことを知る。2002年屋根に座って思案中。 ...and more... つづく

Artist 上田 浩子

「go down（it is not hard)」

秋から真冬にむかう新潟の季節を好きだというと、然りと頷くのはやはり新潟もんばかりのようである。ずっしりと重たい灰色の絨毯のような空の底に向かって、ひゅううっと落っこちていったら、さぞ気持ちがいいだろうなあ。街中に、唐突にそびえる素っ頓狂な建物の中にある天井を見ていたら、そんな埒もないことを思い出した。でもこちらは落っこちたら痛そうだけど。



UEDA Hiroko

托鉢デザイナー

1963年新津市生まれ　1998年よりフリー。
新潟・文化批評誌「風だるま」に駄文「起承転々（きしょうてんころがし）」を、季刊雑誌「ばらくて」にまんが「今日も元気。」をちょぼちょぼ連載中。

「動くの？」過去のリレーアート展で多く聞かれた言葉です。
「じゃあ動け！」とばかりに造ってみました。
単純でぎこちなく動く所が僕にとっては愛らしい
ウッディなアルボットです。

Kengo KASAHARA

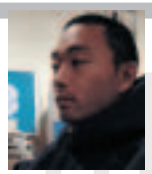
アルミ造形作家

1966年六日町生まれ　1997年フリーの建築パース、模型、イラスト等のレンダラーとして独立。店舗設計会社に在職中、台湾の建築デザイン会社へ派遣され現地での活動経験を持つ。新潟県商業施設士会所属、新潟デザイン専門学校非常勤講師（建築パース・模型）

Artist 勝見 尚紀

PCのcpuは数ghzまで進歩。でも圧倒的にソフトウエア不足な気がします。デジタルとアナログのバランス。人と機械のバランス。コンピューターという画材をもっと気楽に使いたい。と最近よく思います。

Naokatoshi KATSUMI



便利屋ビジュアリスト

1974年新潟市生まれ
1999年クリアグラフィックス主催
2001年ベリーフロップ主催

Artist 坂本　秀樹

「Room Dead Solider」-飲み干した夜、そしてボトルのために-　「Room Note」「Room 風」「Room 波」

デジタルカメラが猛威をふるう世の中で少し遊ぼうと思った。撮影は露出計すらついてないカメラ。現像・プリントをするため「暗室兼物置」から漬物樽を「よっこらしょ」と出した。一枚プリントするのに、時間はかかるし、ビールは飲むし（？）えらい騒ぎだった。デジカメしか知らない人にすれば、この作業は写真の祖の「タルボット」か、幕末の写真家「上野彦馬」くらいに見えるかもしれないなー。でもけっこう楽しいのも事実だ。ちなみに紙や布を選ぶのにも結構、労力と金を使ってしまった。「スロー・フード」ならぬ「スロー・フォト」ですな！！

勤め人、兼フォトグラファー

1962年加茂市生まれ
1976年初めて写真を撮る。1982年写真を撮る仕事に就く。以後、十数年「素材としての写真」は撮るが「純粋写真」は撮っていなかった。
2000年再び「純粋写真」撮影を再開。2002年LREX展初出品。

「Groundzero」

いまだに9.11同時多発テロ事件の映像が脳裏から離れない。
犠牲となった人々を悼み、私たちにできることは何だろう？
　個人として、
　何をすべきか、
　何ができるのか。

Ken SAKURAI

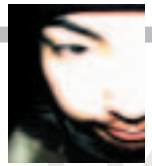
G・CAデザイナー、画家

1965年吉田町生まれ　1989年デザイン事務所「アトリエKEN」設立
1994年より和紙を使った画家活動も始め、近年では空間を支持体にインスタレーションを試みる。1998年第一回展よりLREX参加。
1997、2001年パリ個展。2001年野外アート展in弥彦　等

Artist 高橋トオル

「With a bed」

自分の好きなものを道具に自己表現する事ができたら幸せだと思う。
そして私はベット好き。
不確かな物事が多い中、ベットが好きな気持ちに変わりはなく、
それは布団でも良いのだが、日々そこから何が生まれ、何を持ち帰ってくるのか。
ベットに生かされ、ベットに惑わされながらも延々とループするような毎日の中、
繋ぎ目をよーく見るとそこには必ずベットがある。
その発見から広がる世界が必ずある。



Tooru TAKAHASHI

モラリスト

1977年生まれ
2000年創作集団chinap（チナップ）主催。
グループ展開催の傍ら各アートイベントに参加。
2001年よりフリーデザイナーとしてお仕事中。

Artist チャック

今回は、自分のスタイルでもある壁画をライブでやろうと思った。
題名はないが、ライブでやる緊張感や気持ち良さを味わいながら、
自由に描きたいと思う。
初日や2日目などに来場される方など、絵はぜんぜん出来てないと思うが
最終日には出来上がりを是非、見に来てほしい！

ウォールペインター

1962年新潟市生まれ
1987年ころから新潟を中心に飲食店、ブティック、アミューズメントなどの壁画、オブジェの製作、店鋪デザインなど手掛ける。

Artist 鶴田 教明

「板絵群」

佐渡で薪能を見ていた時、鏡板に描かれた松と夕日に引かれました。何百年もの間、少しずつ風化しながら今日に至った、その絵の風格に感動。板に絵を描きたいと思って、描き始めました。描く時、アクリル絵の具が板に吸い込まれて行く感覚が大好きです。作品を庭に飾って風雨に晒しての変化を楽しんでいます。日本画や浮世絵が大好きで、花鳥を描いています。葛飾北斎にあこがれていますが絶対に及ばないので、鶴亭小北斎と勝手に名乗って活動中です。

Noriaki TSURUTA

板絵を描く会社員

１949年小須戸町生まれ　会社員です。ずーと仕事で写真撮ってきました。だから、写真以外の分野で何かやってみたいと思っていた15年前、パソコンと出会い、絵を書き始めました。そしたら、マウスだけでなくて筆でも、物の形が取れ、現実の世界でも絵を描けるのだと認識し今日に至ります。人の2倍生きたいと生き急いでいるせっかち者です。

Artist 眞島　裕之

「夜明け前」「願い」「墨」

「今年は何をしようかなあ」と毎年悩む。きわめて寡作な私は、年に1回しか作品と呼べるものを作らない。考えあぐねて結局落ち着いたところは、いつもと同じ海辺の風景だ。フィルムの山から数枚取り出し、あれこれいじりまくり、形が見え始める。そして、意味の無い絵に意味有りげなテキストを載せて完成を迎える。
そういう人、私。

Hiroyuki MASHIMA

自称ビジュアリスト

1962年新潟県西川町生まれ
1998年より写真家としてLREXに参加。
2000年より新潟市を中心にVJとして活動中。
普段は一介のサラリーマン。

Mamdouh ANWAR （マムドゥ・アノワー）フランス・エジプト国籍

EZE-France「エズ」　LYONS-LA-FOREST-France「リヨン・ラ・フォレ」

私がなぜ新潟が好きかというと、初めて日本に来て、初めて訪れた都市であり、またなんと言ってもそこで触れ合った人々の優しさに感銘を受けたからです。

私の今回のテーマは「フランス－日本」です。日本の皆さんには私の仕事のスタイルを知ってもらい、私も皆さんに受け入れられることを希望しています。そして、日本と私、ひいては日本とフランスのいい関係を築く足がかりになればと思います。

画家、ジャーナリスト、フォトグラファー

2000　第1回ANTIMOVIMIENTO国際ビエンナーレ（アルゼンチン・ブエノスアイレス）
　　国際現代アート運動（中国・北京）
2001　Trans Pyramid'Art 合同展覧会（フランス・パリ）
　　Ahmed SHAWKI ミュージアム合同展（エジプト・カイロ）
　　マムドゥ and ケン 二人展（新潟市）
2002　Galerie Grant（エジプト・カイロ）　その他

コラボレーションアートスペース

オープニングイベント【LREX GO】

at NEXT21 アトリウム

今年もParty【comfortable art cafe】

at another ticket

5周年記念トークショー【トーク 5・ご・GO!】

Plan : another ticket

ミーティング・設営

All the staff

阿部信子　伊藤純一　今井みどり　上田浩子　笠原賢悟　勝見尚紀　坂本秀樹　櫻井謙一郎　高橋トオル　チャック　鶴田教明　眞島裕之　Mamdouh ANWAR

石山千枝　草島千津子　桜井敦子　鈴江綾子　高橋一裕　高橋みどり　鶴田由紀子　山崎智仁　TEAM天真爛漫（みきも、ゆっち、はまお）

another ticket　SUN　Seeds RECORD　真季　森下英矢（新潟お笑い集団「NAMARA」）

主　催：LREX展実行委員会
（財）新潟県文化振興財団、（財）新潟市芸術文化振興財団助成事業
事務局：LREX展実行委員会事務局　Tel.025-241-0815（伊藤純一アトリエ内）
LREXオフィシャルHP　http://www1.linkclub.or.jp/~panchos/LREX/index.html

発　行：LREX展実行委員会